

那覇西、試合掌握し完勝

那覇西(女子)、興南(男子) V

ハンド九州高校選抜予選

ハンドボールの第35回琉球新報旗争奪九州高校選抜大会予選は16日、八重瀬町東風平運動公園体育館で最終日を行い、女子決勝は

那覇西が22-13で浦添商を下し、4年ぶり11度目の栄冠を手にした。男子決勝は興南が32-22でコザに快勝し、2年連続28度目の頂点に立った。男女上位2チームは第47回九州選抜大会・第42回全国選抜大会九州地区予選大会(来年2月、熊本県)に派遣される。



那覇西ー浦添商 シュート放つ那覇西の喜納歩菜16日、八重瀬町の東風平運動公園体育館

ハイライト

大会前の練習から、内容や雰囲気はいまひとつの女子那覇西だったが、決勝の後半は浦添商の攻め手を封じて2失点にとどめ、試合を掌握して勝ち上がった。10月の新人大会に続く2大会優勝。県内勢力図を変えながら強豪の地位を取り戻す那覇西の比嘉律監督は、「課題は多いが、生徒が力3人に対し守備を集中する」

努力してつかんだ優勝を、全などし、接戦の中で徐々に守備の判断を統一していった。後半、浦添商に手詰まり感が出るも、那覇西は高めの守備からボールを奪って速攻で畳み掛けた。相手の2人連続退場の好機を逃さず、後半は11-2と圧倒した。流れをつかんだ時間帯は喜納歩菜の流れるロングや久場川かめ、リハビリ中の自分もペナルティスローから勝利に貢献したい」と意気込んだ。(嘉陽拓也)

九州大会へ課題残す 興南

【男子】	▽決勝	興南 32	17	15	11	11	22	コザ
	(2年連続28回目の優勝)							
【女子】	▽決勝	那覇西 22	11	11	21	13	浦添商	
	(4年ぶり11回目の優勝)							

男子決勝は、常勝・興南が控えメンバーを出場させるなど、実力差を見せてコザを下した。しかし、シュートミスも多く、黒島宣昭監督は「九州大会までに得点をアップし、コザとともに全国に出場できるようにしたい」と語った。



興南ーコザ 角度のない位置からのゴールを狙う興南の池間飛勇

逆速攻にやられすぎた女子準優勝の浦添商・野底夢美主将の話 部員8人が悔しい。那覇西の高めの守備の前に、攻撃がシュートまでいけず、逆速攻でやられすぎた。九州までにオフェンスの力を上げる。



女子の部 優勝し笑顔を見せる那覇西のメンバー



男子の部 優勝しガッツポーズの興南のメンバー